

2022年10月号(317号)

食品ロス削減イベント & ごみゼロ社会推進あいち県民大会 2022

2022年10月29日(土) 11:00-15:30 in ナディアパーク3Fデザインホール

食品ロス削減イベント

- 11:00~ オープニング
- 11:30~ 寺坂頼我さん 食品ロス削減トークショー
- 12:00~ 食品ロスNo!ワールドアドベンチャーステージ
- 13:00~ 食品ロス削減講演会

ごみゼロ社会推進あいち県民大会

- 11:10~ ワンウェイ(使い捨て)プラスチックごみ削減取組表彰式
- 14:35~ ゴミ清掃員表彰式

AR恐竜スタンプラリーに参加しよう!!

愛知県ブース ゲームや動画で楽しく食品ロスを学びましょう!!

フードライブブース フードライブで食品を必要としている人たちへ届けよう!!

YouTubeライブ配信 トークショーや講演会等の様子をライブ配信。スマホからでも視聴可能。

TEL: 052-954-6234

「食品ロス削減イベント&ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を開催します(P3)



「愛知県・自然歩道を歩こう大会」を開催します(P3)



「アクション油ヶ淵 2022」を開催します(P4)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた取組を推進しています。

「環境かわら版」Web ページは
こちらから→



今月号とバックナンバーを掲載しています。



「あいちSDGs環境プラットフォーム」をオープンしました



サイトトップページ

県民・事業者の皆さんが、SDGsに取り組む上でのヒントを得たり、連携パートナーを見つける場となるWebサイト「あいちSDGs環境プラットフォーム」をオープンしました。

このプラットフォームでは、企業、大学、NPOなどが県内で実施する環境面の取組を、写真や動画を交えて広くPRできます。また、取組指標の設定の有無、従業員教育の有無など、登録内容に応じて取組レベルの自動判定を受けられます。

取組事例は随時募集していますので、是非登録をお願いします。

また、登録された様々な団体の取組事例は、どなたでも閲覧することができますので、

- ・これからSDGsに向けた環境活動を始めたい
- ・同業他社の取組事例が気になる
- ・就職に向けて環境対策に積極的な企業を探したい場合など、多くの県民、事業者の皆さんにご活用していただきたいです。



登録団体ができること

- 発信する** 自らの取組を写真や動画を用いて対外的に広くPRできます。
- つながる** 団体間でマッチング希望情報の受発信ができ、新たなパートナーとの連携やコラボレーションが図れます。
- ステップアップ** 登録内容に応じて自らの取組レベルを把握でき、次なるステップに向けた取組のステップアップが図れます。



閲覧者ができること

- 探す** 業種や企業規模、取組分野等、ユーザー目線の多様な検索機能により、環境に関する取組情報をピンポイントで取得できます。
- 知る** 様々な団体のSDGsに関する経営方針や環境面の取組を知ることができ、自らの行動・取組の参考にすることができます。
- 参加する** 愛知県の環境に関する施策やイベント情報を知り、参加することができます。

🔍 あいちSDGs環境プラットフォーム

検索

(<https://aichi-sdgs-epf.jp>)



〔 環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン) 〕

「愛知県・自然歩道を歩こう大会」を開催します



愛知県は、愛知県ウォーキング協会と共催で「第41回愛知県・自然歩道を歩こう大会」を開催します。今回は、犬山市内の石作公園を出発し、東海自然歩道の緑豊かな自然を歩き、国宝・犬山城を目指す、全長約12kmのコースです。是非ご参加ください。

- 1 日時 10月16日(日) 9:00集合、9:30出発、14:30解散予定
- 2 集合場所 石作公園(犬山市松本町4丁目、名鉄犬山線「犬山駅」から徒歩約10分)
- 3 コース 犬山市内の東海自然歩道ほか 約12km
(石作公園～善師野駅～大平林道～不老公園～犬山遊園駅～犬山城)
- 4 参加費 無料、申込不要
- 5 参加資格 制限なし(小学生以下の参加については、保護者の方の付き添いをお願いします。)

6 その他

- ・昼食、飲み物、雨具、健康保険証、感染予防のためのマスクをご持参ください。
- ・駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
- ・小雨決行。雨天中止については、当日午前7時以降に下記連絡先までお問い合わせください。
- ・詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/arukou-20221016.html>)



2019年大会の様子
(扶桑町)



自然環境課 調整・施設・自然公園グループ
電話 052-954-6227(ダイヤルイン)

「食品ロス削減イベント&ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を開催します



愛知県では、食品ロスとプラスチックごみなどの問題を広く県民の皆さんに知っていただき、より一層、食品ロスの削減と3Rの普及を進めるため、「食品ロス削減イベント」と「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を同時開催します。是非ご参加ください。

- 1 日時 10月29日(土) 11:00~15:30
- 2 会場 ナディアパーク デザインホール
(名古屋市中区栄3-18-1)
- 3 参加方法 観覧(定員200名)・オンライン配信
参加費無料(通信費は自己負担)
- 4 内容

(1) 食品ロス削減イベント

- トークショー&ステージショー
寺坂 頼我 氏(俳優・タレント)
- 講演会
井出 留美 氏(食品ロス問題ジャーナリスト)

○啓発マンガの配布、フードドライブの実施

(2) ごみゼロ社会推進あいち県民大会

- 「ワンウェイ(使い捨て)プラスチックごみ削減取組」知事表彰
- 「レジ袋削減取組優良店」知事表彰
- トークショー
滝沢 秀一 氏(ゴミ清掃員芸人)

5 申込・参加方法

会場観覧は、下記Webページからお申込みください。(申込多数の場合は抽選)

イベントの様子はオンラインで配信します。視聴方法など、詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/r4foodloss-kenmin.html>)



あいち 食品ロス ごみゼロ

検索

資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234(ダイヤルイン)

「アクション油ヶ淵2022」を開催します



油ヶ淵は、愛知県内唯一の天然湖沼です。油ヶ淵への関心を深め、楽しみながら環境のことを学んでいただくため、油ヶ淵水質浄化促進協議会*の主催で、「アクション油ヶ淵2022」を開催します。

参加費は無料です。多くの方のご参加をお待ちしています。

1 日時 10月29日(土) 10:00~15:00

2 場所 油ヶ淵水辺公園 自然ふれあい生態園
(安城市東端町丸ノ内)

3 内容

(1) 体験型講座(事前申込制)

「ミニビオトープづくり」 ミニビオトープ



時間 ①10:00~12:00 ②13:00~15:00

対象 小中学生(小学生は保護者同伴)

定員 各回20名程度(1組4名以内)

(2) 生きものブース

・生きものタッチプール

(3) 工作ブース

・あぶちゃんオリジナルグッズ作り

(4) 体験ブース

・エコたんクイズラリー

・油ヶ淵にぶーかぶか

・水質調査体験・水質浄化実験



詳細及び事前申込は Web ページをご覧ください。

(<https://www.aburagafuchi.jp/>)



アクション油ヶ淵2022

検索

*油ヶ淵の水質浄化を目的として1993年設置。愛知県と油ヶ淵周辺4市(碧南市、安城市、西尾市及び高浜市)で構成。

水大気環境課生活環境地盤対策室

三河湾環境再生グループ

電話 052-954-6220(ダイヤルイン)



「もりの学舎(まなびや)」秋の特別企画を

実施しています



愛・地球博記念公園(モリコロパーク)内の「もりの学舎」では、(公財)愛知臨海環境整備センター(ASEC)の協賛により、秋の特別企画を実施しています。

公園内をめぐるクイズラリー「森のナゾときウォーク」を始め、身近な自然素材を使った工作教室「あそび工房」や身近な形を自然の中から発見する自然遊び体験「かたち鑑定団」など様々なプログラムをご用意しています。



あそび工房
(森のフォトフレーム)

参加費はいずれも無料です。是非ご参加ください。

1 「森のナゾときウォーク」

(1) 開催日 10月31日(月)まで

(モリコロパークの休園日を除く。)

(2) 開催時間 9:00~16:30

(3) 内容

もりの学舎や公園内各所で解答用紙(地図)を入手し、「ナゾときポイント」をめぐりながら、謎を解いていきます。ゴールのもりの学舎で、インタープリターと答え合わせができます。

(4) 参加特典

ASEC ともりの学舎のオリジナルコラボグッズ(エコバッグ)などをプレゼントします。

2 その他

特別企画の各イベントは、AELネット環境学習スタンプラリーの対象です。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/r4autumn.html>)



環境活動推進課 環境学習グループ

電話 052-954-6208(ダイヤルイン)

県民向け「化学物質セミナー」を開催します



化学物質は私たちの快適な暮らしに欠かせないものですが、使い方を誤ると人や動植物に悪影響を与えてしまうおそれがあります。そこで、身の回りの化学物質に対する理解と関心を深めるため、愛知県は名古屋市との共催で、県民の皆さんを対象としたセミナーを毎年開催しています。

今年度は、マイクロプラスチック等の化学物質と水環境について、千葉工業大学教授の亀田 豊 さんにご講演いただきます。是非ご参加ください。

- 1 日時 11月11日(金) 14:30～16:00
- 2 場所 愛知芸術文化センター12階
アートスペースA
(名古屋市東区東桜一丁目13-2)

3 講演内容

「マイクロプラスチック等の化学物質と水環境について学ぶ」

千葉工業大学 創造工学部 都市環境工学科
教授 亀田 豊 氏

4 参加費 無料

5 定員 90名

6 申込期間

10月11日(火) 9:00 から (先着順)

7 申込方法

名古屋市電子申請サービス

(<https://ttzk.graffer.jp/city-nagoya>)

からお申込みいただくか、電話又はFAX

で①氏名、②電話番号、③お住まいの市町村をご連絡ください。



8 申込先

名古屋市環境局地域環境対策部
地域環境対策課有害化学物質対策係

電話：052-972-2677

FAX：052-972-4155



昨年度のセミナーでは、化学物質と名古屋の大気汚染についての講演を行いました。過去のセミナー資料は県Webページに掲載しています。詳細はWebページをご覧ください。

(https://www.pref.aichi.jp/kankyo/katsudo-ka/jigyo/prtr/02kenmin/torikumi/torikumi_seminor.html)



昨年度の様子

また、県民の皆さんに化学物質に関心を持っていただくため、化学物質の影響に関する情報や県内の化学物質排出量等の集計結果を掲載したパンフレットを作成しました。各県民事務所等や今回のセミナーで配布するほか、下記URLからダウンロードできます。

(<https://kankyojoho.pref.aichi.jp/Download/DownloadInput.aspx>)



化学物質の正しい理解のために
～環境リスクについて考えよう～

なお、化学物質による環境や健康への影響を減らすため、例年、化学物質を取り扱っている事業者の皆さんを対象として「化学物質適正管理セミナー」を開催しています。昨年度に引き続き、今年度もオンラインでの開催を予定しています。詳細は決まり次第、お知らせします。

〔環境活動推進課 環境リスク対策グループ
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)〕

「Let's エコアクション in Aichi」を開催します



地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション*」の輪を広げていくため、環境イベント「Let's エコアクション in AICHI」～みんなで楽しく！エコアクション～を開催します。

皆さんお誘い合わせの上、是非ご来場ください。

*エコアクションの例

ごみの分別、公共交通機関の利用 等

1 開催日時

11月6日(日) 10:00～16:00

2 開催場所

太田川駅前イベント広場「大屋根広場」
(東海市大田町後田 65)

3 実施主体

主催：愛知県

協力：東海市、愛知教育大学、日本福祉大学

4 主な内容

(1) ステージイベント

- ・あいちエコアクション広報部の地元アイドルグループ「OS☆U」によるライブステージ
- ・「ゴミンゾク」による海洋ゴミで作った楽器の演奏
- ・「kajii」による日用品で作った楽器の演奏
- ・「長谷川明子先生」によるクイズ等を交えた環境学習ステージ
- ・「あいちの未来クリエイト部」による活動報告ステージなど



OS☆U



ゴミンゾク

(2) ワークショップ・ブース出展等

日用品で作った楽器の演奏体験、廃油を使ったアロマキャンドル作り、自然素材を使った工作、環境を題材としたゲームなどで、環境について楽しく学べます。

My エコアクション宣言として、メッセージを記入いただいた葉っぱのカードを東海市の木である楠の絵柄のボードに張り完成させるコーナーもあります。

また、アンケートにご協力いただいた方には、素敵なグッズをプレゼントします(先着順)。



日用品で作った楽器の演奏体験



環境を題材としたゲーム

(3) フードドライブ

買いすぎてしまったものやお中元・お歳暮などのいただきもので、ご家庭に眠っている食品がありましたら、是非お持ちください。皆さんのご協力をお願いします。



5 本イベントにおける環境配慮

- ・「中部産 CO₂ クレジット」を活用したカーボン・オフセットにより、イベント開催に伴う CO₂ 排出量はゼロです。
- ・公共交通機関での来場が便利な場所で開催します。
- ・会場の一部の電力を燃料電池自動車「MIRAI」から供給します。

6 その他

事前申込は不要です。また、参加費は無料です。詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/ecoactionr04.html>)



環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

「令和4(2022)年度アスベスト対策に関する講習会」をご視聴いただけます



アスベスト(石綿)は、人が吸い込むことで中皮腫や肺がんなどを引き起こすおそれがある天然の鉱物です。過去に建築材料として多く使用されており、使用されている建築物等の解体作業を行うときは、適切な措置をとることが重要です。

そこで、各法令の規制内容や事前調査における注意点を説明する「アスベスト対策に関する講習会」をオンライン形式で配信していますので、是非ご視聴ください。

なお、ご視聴は無料(通信費は自己負担)ですが、申込みが必要です。

1 公開期限

10月31日(月)17:00まで

2 開催方法

YouTubeによるオンライン形式(録画配信)

3 内容

法規制の内容、石綿含有製品と石綿有無の調査等

4 受講対象者

建設業関係者、建築物所有者、県民等

5 申込期限

10月31日(月)12:00まで

6 申込方法

あいち電子申請届出システムからお申込みください。申込完了時にメールにて視聴方法をご案内します。

(https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=54202)



〔水大気環境課 大気規制グループ
電話 052-954-6215(ダイヤルイン)〕

「エコモビリティ ライフ(エコモビ)」実践のススメ



愛知県では、クルマ(自家用車)と公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けるライフスタイル「エコモビリティ ライフ」(エコモビ)を推進しています。皆さん一人ひとりが、「エコモビ」を実践することによって、地球環境にやさしいだけでなく、安全で健康的な生活や、機能的で活力あるまちづくりの実現につながります。

毎月第1水曜日は「エコモビの日」です。

まずは、月に1日でも、「エコモビ」をはじめませんか？



【**エコモビ**で、いいこと、いろいろ！】

☆ CO₂削減！

1人を1km運ぶのに排出するCO₂は、電車ならクルマの約7分の1、バスなら約2分の1です！

☆ 継続すればダイエットに！

クルマで約25分の道のりを徒歩と電車で行く場合、カロリー消費量は約2倍になります！*

* 40歳代の男性が10kmをクルマ通勤した場合と、徒歩10分、鉄道15分、徒歩10分で通勤した場合の比較

☆ 交通事故リスクの軽減や渋滞の緩和も！

詳細はWebページをご覧ください。

知って得するエコモビ実践ガイド

エコモビ 実践

検索



(<https://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/>)

〔交通対策課 エコモビリティライフ推進グループ
電話 052-954-6125(ダイヤルイン)〕

10月はクリーン排水推進月間及び浄化槽強調月間です



愛知県では、「生活排水対策に関する基本方針」に基づき、10月を「クリーン排水推進月間」及び「浄化槽強調月間」と定め、市町村や浄化槽指定検査機関等と連携し、川や海などの汚れの主な原因である生活排水への関心を高めていただくとともに、浄化槽の適正な維持管理等について周知しています。

1 実践しよう！生活排水対策

浄化槽や下水道などでは、微生物の働きによって生活排水の汚れを分解し、きれいな水に処理していますが、その能力には限りがあります。汚れた生活排水を流しすぎないように心がけることが大切です。

私たちの身近には、簡単にできる生活排水対策がたくさんあります。皆さんも、できることから少しずつ始めてみましょう。

身近な生活排水対策



洗う前に汚れを拭き取る。



水切りネットを活用する。



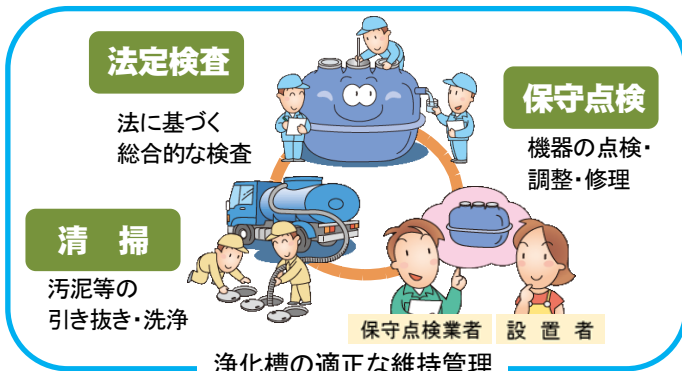
油は直接流さず、古新聞などに吸わせて可燃ゴミに出す。



洗剤は適量を使用する。

2 浄化槽の適正な維持管理が大切！

浄化槽の本来の機能を十分に発揮させるため、浄化槽管理者（一般住宅の場合、世帯主）は浄化槽法で、①年1回の**法定検査**（水質検査等）受検、②定期的な**保守点検**、③年1回以上の**清掃**の全てを行うことが義務付けられています。



浄化槽の適正な維持管理

3 単独処理浄化槽は合併処理浄化槽へ転換を！

単独処理浄化槽は、し尿のみを処理し、台所や洗濯、お風呂の水は未処理のまま放流するため、川や海の水質汚濁の大きな原因となっています。また、設置後 20～30 年以上が経過し、老朽化しているものが多いため、漏水や破損のおそれがあります。使用している方は早急に合併処理浄化槽に転換してください（下水道が供用されている地域の方は遅滞なく下水道に接続してください）。県内の多くの市町村では、合併処理浄化槽への転換費用に対する補助制度を設けています。お住いの市町村関係課までお問合せください。

なお、2019 年の浄化槽法改正により、浄化槽本体に著しい破損又は劣化箇所があり、汚水が漏水しているなど、そのまま放置すれば生活環境や公衆衛生上重大な支障が生じるおそれがあると認められる単独処理浄化槽（特定既存単独処理浄化槽）は、除却（撤去）等を指導されることがあります。

4 その他

県及び市町村の広報紙等で、生活排水対策や浄化槽の適切な維持管理等に係る情報を掲載しています。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/clean-haisui.html>)



水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
生活環境グループ
電話 052-954-6220・6219（ダイヤルイン）

地盤沈下調査結果について



愛知県では、1961年から継続的に地盤沈下の状況を観測・調査しています。この度2021年に実施した水準測量、地下水位観測等の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

1 2021年の地盤沈下の状況

地盤の高さを計測する水準測量を、尾張・名古屋市地域と西三河地域で実施しました。

尾張・名古屋市地域では1cm/年以上沈下した水準点が1点観測されましたが、沈下域（隣接する3点以上で1cm/年以上の沈下が見られた地域）は見られず、おおむね沈静化の傾向にあります（図1）。

また、西三河地域では1cm/年以上沈下した水準点は観測されず、経年的な地盤沈下の傾向も見られませんでした。

2 地下水揚水量の状況

地盤沈下の原因の1つである地下水揚水量については、1975年度には県内で約2,500千m³/日ありま

したが、揚水規制などの対策により大幅に減少し、2021年度には727千m³/日になっています（図2）。

3 まとめ

県内の地盤沈下はおおむね沈静化の傾向にあります。しかし、渇水時には、雨水など地下に浸透する水量の減少や揚水量の増加により、地下水位が急激に低下し、広範囲で地盤沈下が発生する可能性が依然としてあることから、引き続き地盤沈下調査や地下水位の監視を行うとともに、地下水の揚水規制等を実施し、地盤沈下の防止に努めていきます。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/0000035266.html>)



🔍 地盤沈下調査結果 愛知

検索

水大気環境課 生活環境地盤対策室
地盤沈下対策グループ
電話 052-954-6224 (ダイヤルイン)

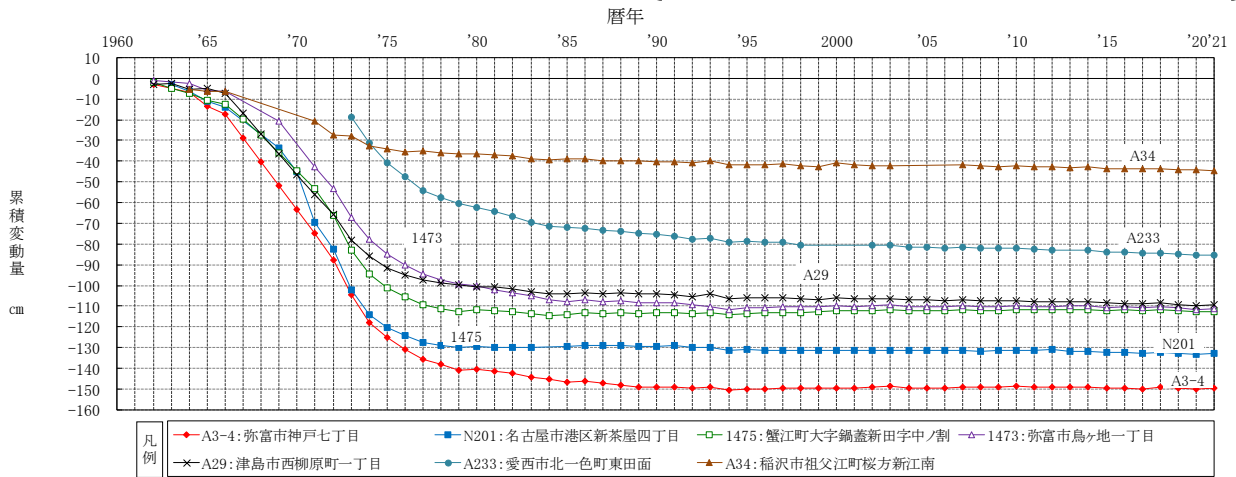


図1 主要な水準点の調査開始からの累積変動状況(尾張・名古屋市地域)

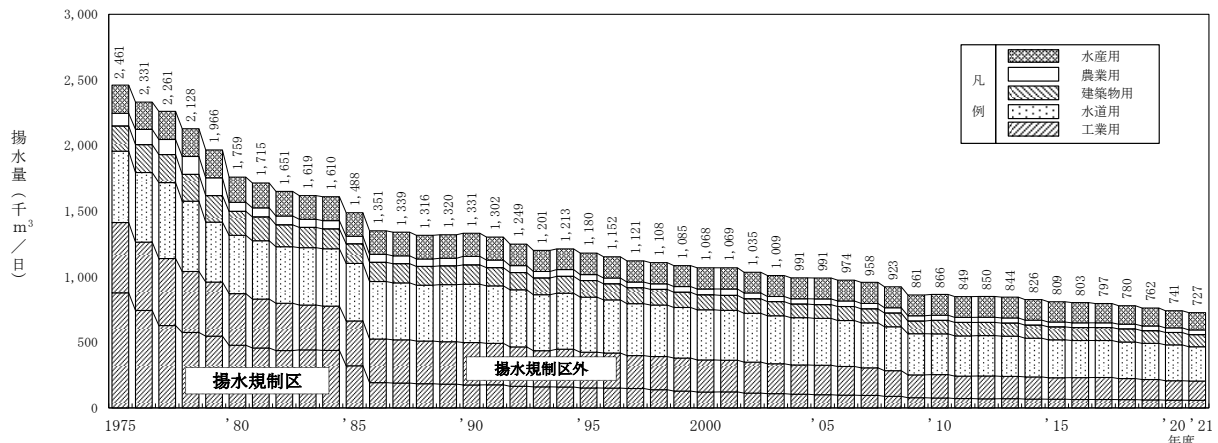


図2 愛知県の地下水総揚水量

「2021年度交通騒音・振動調査結果」について お知らせします



2021年度に愛知県及び市町村が実施した交通騒音・振動の調査結果をとりまとめました。概要は次のとおりです。

1 自動車騒音の環境基準達成状況

主要幹線道路 1,175 区間 471,637 戸のうち 458,422 戸 (97.2%) で環境基準を達成しました (2020年度は 1,166 区間 470,117 戸のうち 455,349 戸 (96.9%) で達成)。

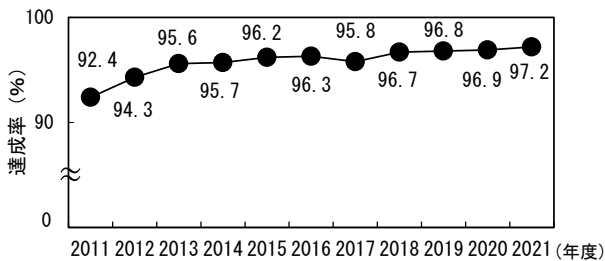


図1 環境基準達成率の経年変化 (自動車騒音)

2 自動車騒音・振動の要請限度超過状況

- ・騒音は調査地点 131 地点のうち 7 地点で要請限度*を超過しました (2020年度は 120 地点のうち 6 地点で超過)。
- ・振動は調査地点 52 地点全てで要請限度を下回りました (2020年度は 48 地点全てで下回る)。

* 要請限度

騒音・振動が一定の限度を超え、道路周辺の生活環境が著しく損なわれると認められるとき、市町村長が公安委員会等に措置をとるよう要請する際の限度 (数値) のこと。

3 新幹線鉄道騒音の環境基準達成状況

調査地点 78 地点のうち 59 地点 (75.6%) で環境基準を達成しました (2020年度は 69 地点のうち 58 地点 (84.1%) で達成)。



新幹線鉄道騒音の調査

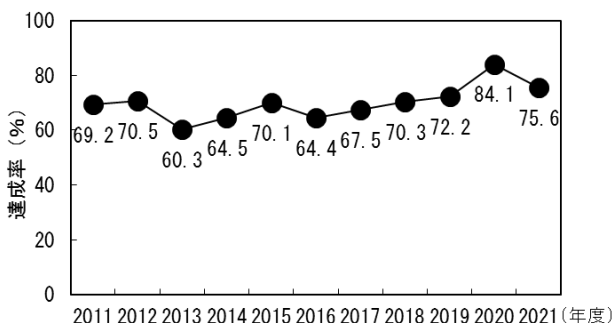


図2 環境基準達成率の経年変化 (新幹線騒音)

4 新幹線鉄道振動の指針値達成状況

調査地点 30 地点全てで指針値を達成しました (2020年度は 30 地点のうち 29 地点 (96.7%) で指針値を達成)。

5 航空機騒音の環境基準達成状況

【県営名古屋空港】

調査地点 16 地点のうち 9 地点で達成しました (2020年度も 16 地点のうち 9 地点で達成)。



航空機騒音の調査

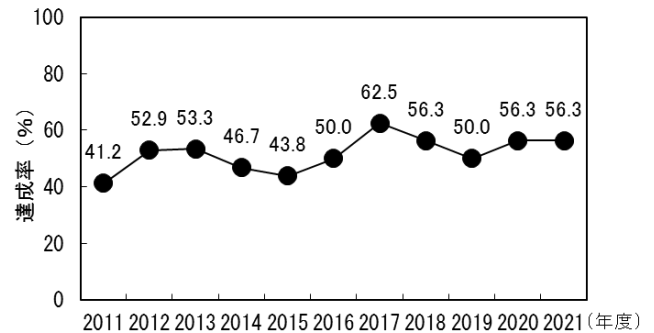


図3 環境基準達成率の経年変化 (県営名古屋空港)

【中部国際空港】

調査地点 5 地点全てで達成しました (2007年度以降、いずれの調査地点でも環境基準値を下回る)。

6 今後の対応

県及び関係市町村では、引き続き環境基準達成状況等を監視するとともに、関係機関と連携して交通騒音・振動対策を推進していきます。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2021souon-shindou.html>)



水大気環境課 生活環境地盤対策室
生活環境グループ
電話 052-954-6214 (ダイヤルイン)

○ 「気候変動×スポーツ」について

10月10日(月)は「スポーツの日」です。

多くの方々に身近に親しまれ、楽しまれているスポーツにも、目に見える形で気候変動の影響が現れています。

環境省では、今年2月から「気候変動×スポーツ」特設ページを公開し、スポーツを切り口に、気候変動問題に対する危機意識や行動変容を図る取組を行っています。この中から、夏と冬におけるスポーツへの気候変動影響の話題を紹介します。

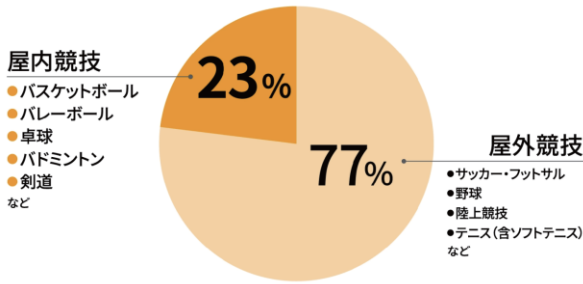
<夏におけるスポーツへの気候変動影響>

日本の平均気温は、長期的には100年あたり1.28℃の割合で上昇しており、真夏日や猛暑日となる日も増加しています。

高温、多湿、風が弱い、熱を発生するものがある等の環境では、体から外気への熱放散が減少し、汗の蒸発も不十分となり、熱中症が発生しやすくなります。猛暑日では、試合の中止や延期、開催時間を変更せざるを得ないような事例も発生しています。

暑さ指数(WBGT)(7月号で紹介)が25~28でも「熱中症予防運動指針」では「警戒」とされ、「積極的に休憩をとる」「適宜水分・塩分を補給する」といった適応策が必要です。

また、熱中症は屋外のスポーツはもちろん、屋内のスポーツでも発生しています。学校で実施する運動によって発生した熱中症発生件数のうち、約2割が屋内競技での発生です。



出典:日本スポーツ振興センター「学校の管理下の災害(令和2年版)」

学校管理下の熱中症発生件数の割合

(「気候変動×スポーツ」特設ページ資料から引用)

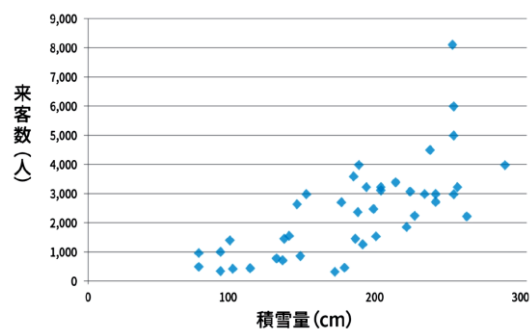
「Basketボール」や「バレーボール」などは、気流の少ない室内環境で湿度が高く、運動量も多い

ため脱水症状になりやすい傾向があります。また、防具を着用して熱を逃がしにくい「剣道」なども注意が必要です。

屋内のスポーツでは、「窓・扉を開け、換気をよくする」「気流を積極的に設ける」「空調設備の使用」「水分の補給を積極的に行う」といった適応策が求められています。

<冬におけるスポーツへの気候変動影響>

地球温暖化に伴う気温の上昇は、夏だけでなく冬にも影響を及ぼしています。北日本を中心に積雪量の減少がみられ、積雪量が減少すると休日のスキー場の来客数が減少する傾向が認められています。



出典:大田原ら(2014)「地球温暖化による積雪量の変化がスキー場の営業に及ぼす影響-富山県を対象として」土木学会論文誌G(環境),Vol.70, No.5, 1_21-1_29

休日における来客者数と積雪量の関係 (富山県のスキー場の例)

(「気候変動×スポーツ」特設ページ資料から引用)

また、将来的には、ざらめ雪(溶けた雪などの水を含み、大きくなってざらざらとした氷粒の状態)が増加し、雪質が劣化する可能性も指摘されています。

こうした影響により、冬の代表的なスポーツであるスキーやスノーボードなど、雪を必要とするスポーツでは、試合の中止や延期せざるを得ないような事例が出ています。

詳細は、環境省の「気候変動×スポーツ」特設ページをご確認ください。

(<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/sports/>)



環境調査センター 企画情報部
気候変動適応センター

電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

自然公園内での野生生物への餌やり等は 規制されています



国立・国定公園、県立自然公園といった自然公園は、開発行為を規制し、美しい自然景観や生物多様性を保護するとともに、キャンプ場、遊歩道、ドライブコースなどを整備し、その美しい自然景観等を楽しむために指定された区域です。

自然豊かな場所であるため、観光客などの前にサル、シカ、クマなどの野生生物が姿を現すこともあります。これらの野生生物に対し、一部の観光客がものめずらしさなどから、過度な接近や餌やりをする例があります。

本来、野生生物は人間との関わりを持たずに、野生の自然環境の中で生息しており、普段は人間を警戒して近づこうとはしません。

しかしながら、人間が過度な接近や餌やり等を繰り返すことにより、人間を恐れなくなってしまうたり、人間に近づくと餌にありつけることなどを覚えてしまうことがあります。

このような野生生物は、自ら人間に近づいたり、人間の荷物等を物色したりするようになり、事故等の被害につながる可能性があります。

こうしたことから、本年4月1日に自然公園法が、10月1日に愛知県立自然公園条例が改正され、「野生生物の生態に影響を及ぼし公園利用に支障を及ぼすおそれのある行為」として、自然公園の特別地域等において、野生生物へ餌やり行為、著しく接近する行為及びつきまとう行為が規制されました。みだりにこれらの行為をした場合には、30万円以下の罰金の対象となります。

野生生物と人間がうまく棲み分け、共存していくために、野生生物と適度な距離をとることが大切です。



野生生物に近づかない、つきまとわない



野生生物に餌をあげない

(イラスト提供：環境省釧路自然環境事務所)

〔 自然環境課 調整・施設・自然公園グループ
電話 052-954-6227 (ダイヤルイン) 〕

※ 掲載のイベントや講習会等は、新型コロナウイルス感染症などにより、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
2022年10月3日発行(第317号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6
電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

編集後記

今年の夏を振り返ってみると、例年よりも早く気温が上がり、6月で40℃を超える酷暑となる日もありましたが、その後は雨が降る日も多く、蒸し暑い夏でした。

10月に入って涼しくなると思いますが、まだまだ暑くなる日もありますので体調には十分気を付けましょう。

(企画・編集チーム)

※「環境かわら版」は、環境局 Web ページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>に掲載しています。

「あいちの環境」は右のQRコードからアクセスできます。

※ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

